ライオンズクラブ国際協会 336-A地区 2R4Z







No. 450









第42回2R親善スポーツ大会開催 新会員オリエンテーション出席報告 4クラブ合同親睦コンペ参加報告

会員短信 「石鎚山に日本一美しいトイレ休憩所完成」 L. 明比昭治 「年賀状」L. 越智英明

2014-2015 年度 ライオンズクラブ国際協会会長 ジョセフ・プレストン

テーマ 「Strengthen the PRIDE 一誇)を高める」



2014-2015年度ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区ガバナー

木内千春

スローガン 「新たな気持ちで」We Serve

キーワード 「ヴィジョン共有」



2014-2015 年度 2 R 4 Z 西条ライオンズクラブ会長

伊藤正己

スローガン 「忍耐と寛容の気持ちで WE SERVE」

· · · MEIS · · ·

宮城県社会福祉協議会会長表彰 受賞

東日本大震災被災地 南三陸町の 方々と縁あって続けてきた支援活動 に対し、「感謝状」が贈られました。 災害から4年が過ぎましたが、まだ まだ活動は続きます。



≪ 国際平和ポスター展覧会 ≫

期間:2014 年 11 月 15 日(土) ~2014 年 11 月 29 日(土) 会場:西条市立西条図書館1Fロビー





開催日時:2014年11月23日(日・祝)

西条Aチーム代表 野間 賢次郎

11月23日、西条市総合体育館において、本年度は今治くるしまライオンズクラブ主管の2R親善レクバレー大会が盛大に開催された。昨年同様、我がクラブからもクラブ内では若手の男性 L 中心に原 LL、益田事務局の女性2名を含むまとまりの A チーム7名、そしてプレーも性格も個性派揃い B チーム7名、合計2 チームの精鋭14名が選抜され、約2 f月前から西条西中学校を中心に西条石鎚 L C、東予 L C、ミルキー(原 LL、益田事務局所属の女子レクバレーチーム)合同の週2回の強化練習が行われた。(平均出席数5~6名も昨年同様?)

当日の試合は、まず3ブロックに分けられた7~8チームでの予選リーグが2試合行われ、その後リーグ1,2位そして全体の3、4位での8チームによる決勝トーナメント方式で争われ、我がクラブはAチーム準優勝、Bチームも決勝トーナメント進出という充分に満足の得られる結果となった。

試合経過は、まずA チームは予選リーグ、1 セットも落とさず2 連勝したが得失点差により2 位での決勝トーナメント進出となった。準々決勝ではリーグ1 位で進出してきた川之江L Cに1 セット先取され、度々ピンチの場面もあったが辛勝、準決勝は今治L Cにストレートで快勝し昨年同様、今治東L Cとの決勝戦となった。大舞台を前に、これまた昨年同様、大黒柱の高橋L が足の痙攣で戦線離脱というハプニングもあったが、なんとかフルセットに持ち込み3 セットの土壇場1 4 対 1 3 まで今治東L を苦しめたが、あと一歩及ばず残念ながら準優勝となった。B チームは第一試合の1 セットB 、発ど相手コートにボールが返らず、ため息交じりの中、大差でセットを落としたが、その後覚醒し、予選リーグの2 試合を何れもフルセットの大接戦で勝ち抜いた。全体3 位で決勝トーナメントに進出、準々決勝では今治東L Cに敗れたものの、戦前の予想を大きく覆し、活躍したB チーム個性派選手達のボールを追うひたむきな姿は、体育館全体に大きな感動を与え敵、味方を越えた、館内が割れんばかりの大きな拍手と共に、やり尽くした、悔いの無い爽やかな笑顔でコートを後にした。

試合後、「泰山」で恒例の反省会が行われ選手、応援に来て下さったメンバー、LLの方々と共に来年度、優勝に向けての練習方法、試合中に故障しないための自主練習のあり方、選手の入れ替え等、激論が交わされたが、最後まで決定事項はなく、これまた昨年同様、有耶無耶のまま来年度への持ち越しとなった。





準優勝

を加入表別いたします

#4.96.# TI # 22 H

西条 LC A 4 - 4 段

11 中村 協治



平成26年11月23日(日曜)に第42回2R親善スポーツ大会が、西条市総合体育館で 行われました。私は、今年も毎年参加のBチーム選手でした。Bチームは、ここ最近2回戦 まで進出し、選手レベルも練習に練習を重ね年々向上し、昨年優勝した今治東LCチームに 対し、小野選手、徳増選手などの高度なサーブによって誰もレシーブできないような技術を 披露し、接戦までもつれ込みましたが、惜しくも惜敗いたしました。Aチームは、全員攻撃、 全員アタッカーと精鋭チームで臨みました。特に野間選手、高橋選手の魔球サーブは取れま せん。そして、決勝に進出してきた今治東LCチームと戦い、最終セットのラリーでは、誰 もボールを落とさない熱戦が続きました。感動が、両者の応援へと変わり、実り大きいライ オンズ団結の交流ができたと思います。また、ずっと応援をしていただきました C チーム応 援団のみなさんもありがとうございました。

恒例の打ち上げは、焼き肉「泰山」で浴びるほどワインをいただき、結果、記憶がなくなり ました。チームを引っ張っていただきました安藤キャプテン、選手のみなさん、応援してい ただいたみなさん、そして、伊藤会長方針の「スポーツに親しみ仲良く楽しめるチーム」の 言葉通り、楽しめました。また、来年、Bチームの優勝を祈願して頑張ります。

充実した楽しい一日をありがとうございました。



開会式



中村2RCによる挨拶





声を掛け合い、皆でボールを繋いでいきました





336-A地区の新会員オリエンテーション並びに2Rリーダーシップ(指導力育成)研修会が行われ、環境保全・保健福祉・アラート委員の寺川治美さん、引率者の藤田公道さん、リーダーシップ研修会受講の森下雄一さん、そして私の4名で出席してきました。

はじめに開会ゴングと共に全体会が始まり、2R地区役員・地区委員・アシスタント紹介があり、2R-RCAの村上暁氏による講習がありました。

そのあと新会員オリエンテーションとリーダーシップ研修会と別々に研修会が始まりました。 新会員オリエンテーションでは、元地区ガバナー・地区名誉顧問 西原透氏によるライオンズ必 携の内容を詳しく講演して頂きました。

リーダーシップ研修会では、今治中央ライオンズクラブの村上正郎氏による講演でした。 今回の研修を終え、改めて地域社会の文化や福祉に貢献し、いろいろな各地区のメンバーと交流 を深め、西条ライオンズクラブの為に少しでも活躍・貢献できればと思いました。







プレー前のお約束!クラブ定例会BMが原稿を書く事になっていましたので、喜んで書かせていただきます!



BM 曽我部克正

秋深まる日曜日に、4クラブ合同コンペが行われました。

当日は、晴天に恵まれ寒さ対策をしていきましたが、スタートする時には上着も脱ぎ最高に気持ちのいいゴルフ日和になりました。

総勢32名の大会で、我が西条ライオンズクラブから8名の選手が出場致しました。 団体戦、個人戦で争われ団体戦では上位3名の成績合計で、見事2位に輝きました。 私は、入会してから2回目の出場でした。

前回が、ブービーメーカーで大波賞をいただいたのですが、今回は順位を1つ上げブービー賞に輝きました。賞品を頂いて帰ると、ちょっと怖い妻が笑顔になりますのでホッとしております。 これからの大会で順位を1つずつあげていくと、団体戦で貢献できるのには8年かかる計算になりますが、一日も早く選手になるよう、頑張りたいと思います。

他団体の方とも、いろいろ交流ができる素晴らしい大会ですし、走り回りますので体重も減りますし、これからもどんどん参加していきたいと思います。







西日本最高峰『石鎚山』に《環境配慮型トイレ休憩所》が出来た!!

かねてより石鎚山の環境保全と登山者の利便性、安全性の向上を願い、地元市町をはじめ、 石鎚山をこよなく愛する方々からトイレの建設が切望されていたのであるが、このほど2 の鎖(成就からのルートと、土小屋からのルートの合流点)下に完成、平成26年11月 20日に完成式があり、県議会議長として、現地でテープカットと祝辞を述べさせていた だく機会に恵まれたことは、至極光栄なことであった。

私自身「石鎚山」は子供のころから、朝な夕なに仰ぎ見ながら、険しくも雄大な姿から、 自分の生きざまを励ましてくれる存在であった。(県下の学校の校歌にも最も多く歌詞に歌 われているように、県民の誰もがシンボルと認めているお山である)

したがって、人一倍にきれいな山で、みんなが霊気を体感しながら登れる山であって欲し く、当然トイレ問題の解消も必要と、微力ながら取組ませていただいたので、感慨も一入 のものがある。











富士山が世界遺産登録され、中高年のみならず、 たくさんの若者が山へ向かうなど、今、日本の 山々はかつてないほどの賑わいを見せております。 本県においても、標高差920mを自転車で駆け登 る石鎚山ヒルクライムが、年々盛り上がりを増し て定着するとともに、東予エリアの山岳地帯を一 体的に捉えた登山・トレッキングルートも注目さ れているところです。

このような中、西日本最高峰の石鎚山に、環境保 全及び登山者の安心安全を守る拠点となる、環境 配慮型トイレ休憩所の開設は、誠に時宜を得たも のでありますが、この施設が豊かな自然と共生で

き、『日本一美しい山のトイレ』を目指して、適正な利用と維持管理への協力を、みんな で取り組むことの課題へのチャレンジが、これから始まります。

この施設が、末永く有効に活用され「心」も研かれる『施設』となるよう念願するところです。



「環境配慮型トイレ休憩所」

場所は西条市側成就社からのルートと久万町側土小屋ルートの合流点(二の鎖下)で、石鎚の環境に配慮し立山などで実績のある土壌処理方式(水循環)を採用、姫すぎ姫ひのきの地元産材で、冬季は避難小屋(建屋面積30平方メートル)として2階からも出入り可能なロフト付休憩所でもある。トイレは男子小便器2器、大便器1器、女子は3器が備えられ、利用料は受益者負担のチップ制(100円を目安)で石鎚山クリーンアップ協議会が維持管理する体制ができている。

~ 「明比昭治のひとりごと」」より抜粋 ~







≪ 年 賀 状 ≫

L. 越智英明

正月の楽しみの一つは、何といっても各地から届く「年賀状」ではないでしょうか。 暑中見舞は出さないが、年賀状だけは必ず出すという話はよく聞きます。

年賀状が本格的に普及したのは、昭和 2 5 年に 1 人の商店主の発案で、当たりくじ付の提案が採用されたからだそうです。

ところで今、はがきを書けない学生が居るというのです。信じられない事ですが、宛名と名前を逆に書いたり、郵便番号の欄に携帯番号を書き込んだりするというのです。これではいけないというので、小学生に授業で、はがきの書き方を教える学校も出はじめました。



先生から生徒へ、あるいは友達同士で出し合うと いった具合です。

また近年、手書きものは本当に少なくなりました。 各種プリンターの誕生から、簡単に出来るので書 く必要もなくなったということでしょう。そして、 スマホ、携帯の進歩に依り頻繁にメールでやり取 りするので近況もよくわかり、はがき等の必要性 も薄れていることは確かです。

それはともかく、印字の後に一行か二行の手書きによる添え書きされたのが届くと、何か相手の顔が見える様で、ほっとするのは私だけではないと思います。

編集後記

ついに今年もあとひと月になりました。12月は寒さと乾燥の季節ですので、風邪・インフルエンザ・ノロウィルスなどの感染症が増える季節です。手洗いや、うがいの徹底、予防接種などの予防措置の徹底をお願いします。

皆さんは大丈夫だと思いますが、私の場合、この時期、飲酒の機会が増えるので、酩酊状態での転倒などの事故が起きないよう、早めにアルコール分解促進剤を服用するなどの予防措置を徹底しています。

皆さんも、健康管理に加えて、飲酒事故の予防を考えてみてはどうでしょうか。何ごとも備えあれば憂いなしです。よいお年をお迎えください。

PR·広報委員 太田正宏

発行者会長伊藤正己幹事加藤弘道PR·応報委員長盛實正人

編集委員 小野雅志・加藤誠也・加藤 茂 太田正宏・武智正人・福島 譲

例会日 毎月 第2:第4火曜日(12:30~13:30)

例会場 西条国際ホテル

発行西条ライオンズクラブ事務局印刷プリントワールド ONO

西条ライオンズクラブ

〒793-0030 愛媛県西条市大町 771-1

西条国際ホテル1F TEL(0897)56-3980 FAX(0897)56-9251

E—mail saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp ホームペーシ http://saijo-lions.org

facebook http://facebook.com/saijo.lions/